お客様向け資料
2020年6月

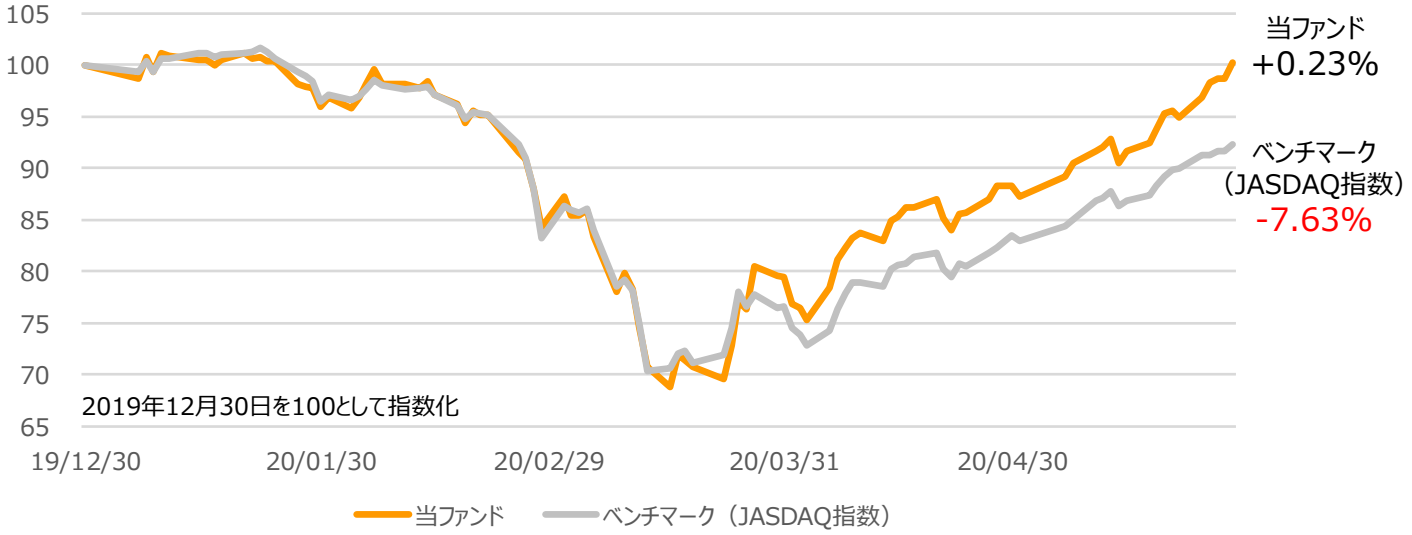
スパークス・アセット・マネジメント株式会社

# スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド（愛称ライジング・サン）コロナショック環境下における当ファンドの運用について

## ▶ 下落前の水準まで回復

2020年1月に始まった新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済活動の縮小で、3月中旬にかけて株式市場は急落しました。しかし、その後各国が打ち出した大規模な金融・財政政策、ワクチン開発への期待、ロックダウンの解除などを受け、株式市場は大きく反発しています。そうした中、スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド（以下、当ファンド）は年初から5月末まで+0.23%と下落前の水準に回復した一方、ベンチマークであるJASDAQ指数は-7.63%となっています。

**基準価額の推移**
（2019年12月30日～2020年5月29日）




**過去のパフォーマンス**

| 基準価額 | 純資産総額 |
|---|---|
| 46,662円 | 44.38億円 |

（2020年5月29日現在）

| | 1か月 | 3か月 | 6か月 | 1年間 | 3年間 | 設定来 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 当ファンド | 13.43% | 18.92% | 4.36% | 16.26% | 32.35% | 469.61% |
| ベンチマーク（JASDAQ指数） | 10.62% | 10.93% | -4.14% | 10.77% | 14.51% | 139.21% |
| 差異 | 2.81% | 7.98% | 8.49% | 5.48% | 17.83% | 330.40% |

※ 基準価額は信託報酬・実績報酬等控除後です。
※ 決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金（税控除前）を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。
※ 当ファンドのベンチマークはJASDAQ指数です。
※ 当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
出所：スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.（2020年5月29日現在）

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

お客様向け資料
2020年6月

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## ▶ コロナ禍で業績拡大が見込まれる銘柄がパフォーマンスを牽引

2020年1月から5月まで当ファンドのパフォーマンスに寄与した上位10銘柄を見ると、**多くが新型コロナウイルス感染拡大による影響や、新しい生活様式により業績拡大が期待される銘柄（オレンジ枠参照）**であることがお分かりいただけます。

例えば在宅勤務や自宅学習、オンライン診療の普及、そしてそれに伴うデータセンター・次世代通信規格「5G」の進展など、コロナショックをきっかけにビジネスの成長が期待出来る銘柄がパフォーマンスを牽引しました。

**基準価額寄与 上位10銘柄**

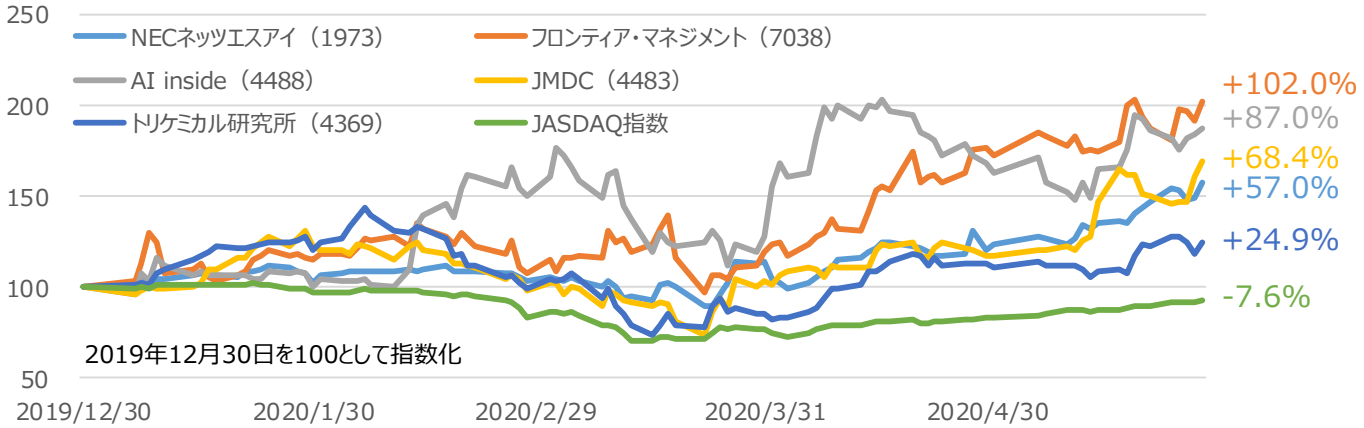
（2020年1月～2020年5月）

＊ 基準価額の変動に寄与した度合い

| 銘柄コード | 銘柄名 | 業種 | 市場 | 寄与度＊ | 株価上昇の要因 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1973 | NECネッツエスアイ | 情報・通信業 | 東証1部 | 2.36% | デジタルトランスフォーメーション（DX）普及による恩恵を享受 |
| 7038 | フロンティア・マネジメント | サービス業 | 東証マザーズ | 1.75% | 経営コンサル、事業再生支援を中心に好調な決算内容を好感 |
| 4488 | AI inside | 情報・通信業 | 東証マザーズ | 1.42% | DX普及による恩恵期待と業績予想の上方修正を好感 |
| 4483 | JMDC | 情報・通信業 | 東証マザーズ | 1.16% | オンライン診療普及による業績拡大を期待 |
| 4369 | トリケミカル研究所 | 化学 | 東証1部 | 0.71% | データセンターや次世代通信規格「5G」による需要拡大を期待 |
| 6750 | エレコム | 電気機器 | 東証1部 | 0.69% | 在宅勤務普及によるPC周辺機器への需要増を期待 |
| 3349 | コスモス薬品 | 小売業 | 東証1部 | 0.66% | 日用品の買いだめや衛生関連用品の売上拡大を期待 |
| 6849 | 日本光電 | 電気機器 | 東証1部 | 0.65% | 医療機器需要への増加に期待 |
| 4686 | ジャストシステム | 情報・通信業 | 東証1部 | 0.64% | 休校による児童・学生の自宅学習増加による業績拡大が期待 |
| 6005 | 三浦工業 | 機械 | 東証1部 | 0.61% | オンライン・メンテナンスや環境重視の潮流が追い風になると期待 |

**基準価額寄与 上位5銘柄の株価推移**

（ 2019年12月30日～2020年5月29日）




※ 当ファンドのベンチマークはJASDAQ指数です。

※ 上記はご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。また、過去の実績等は将来の結果をお約束するものではありません。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc. （2020年5月29日現在）

## ▶ 徹底した企業調査で次の成長銘柄発掘を目指す

スパークス・アセット・マネジメントは1989年の創業来、徹底した企業調査を重視してきました。「マクロはミクロの集積である」という一貫した投資哲学をもとに、年間2,900回以上の企業調査（2019年実績）を行っています。

今後も次世代を牽引する成長銘柄を発掘し、パフォーマンスの向上に尽力して参ります。今後とも当ファンドを宜しくお願いいたします。

当資料はお客様向け資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

## 主な投資リスク

当ファンドは、主として国内の株式など値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。なお、ファンドが有する主なリスクは、以下の通りです。

株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。こうした株式は、比較的新興であり、発行済株式時価総額が小さく、売買の少ない流動性の低い株式が少なくありません。その結果、こうした株式への投資はボラティリティ（価格変動率）が比較的高く、また流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。

その他の留意事項

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※　基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。上記は当ファンドの投資に係る様々なリスク等のうち、主なリスク等について説明したものであり、全てのリスク等を網羅したものではありません。

## その他留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

## リスクの管理体制

委託会社では、投資リスクを適切に管理するため、運用部門ではファンドの特性に沿ったリスク範囲内で運用を行うよう留意しています。また、運用部門から独立した管理担当部門によりモニタリング等のリスク管理を行っています。

## 当ファンドに係る費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---|---|---|
| 購入時 | 購入時手数料 | 購入申込受付日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。<br>※詳しくは販売会社までお問い合わせください。 |
| 換金時 | 信託財産留保額 | 換金申込受付日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。 |
| **投資者が信託財産で間接的に負担する費用** | | |
| 毎日 | 運用管理費用<br>（信託報酬） | 日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.87%（税抜1.70%）を乗じて得た額とします。<br>〔委託会社1.012％（税抜0.92％）、販売会社0.77％（税抜0.70％）、受託会社0.088％（税抜0.08%）〕<br>運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。<br>運営管理費用（信託報酬）＝運用期間中の基準価額×信託報酬率<br>※上記の配分は純資産総額100億円未満の部分についてであり、純資産総額によっては配分は異なります。 |
| | 監査費用<br>印刷費用 | 監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（税込）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。 |
| 随時 | 実績報酬 | 当ファンドは、日々の基準価額が、一定の「ハードル価格」を上回った場合、当該基準価額と当該ハードル価格の差額の13.2%（税抜12%）を、実績報酬として計算し、翌営業日に信託財産の費用として計上します。<br>実績報酬の支払は、毎計算期末に当該日までに計上された金額ならびに信託の終了時に終了日までに計上された金額が信託財産中から支弁されます。なお、実績報酬は全額委託会社が受取るものとします。 |
| | その他費用・<br>手数料 | 組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |

**※当該手数料等の合計額については、ファンドの購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。**

## ファンドの関係法人について

●委託会社　スパークス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第346号
（加入協会）一般社団法人投資信託協会　　一般社団法人日本投資顧問業協会　日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社　三井住友信託銀行株式会社
委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

●販売会社　下記一覧参照
ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

| 販売会社 | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| エイチ・エス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第35号 | ○ | | | |
| 株式会社SMBC信託銀行※ | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第653号 | ○ | | ○ | ○ |
| 株式会社ＳＢＩ証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | | ○ |
| auカブコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第61号 | ○ | ○ | | |
| 東海東京証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第140号 | ○ | ○ | | ○ |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | ○ | | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | ○ | ○ | |
| 株式会社三井住友銀行<br>インターネット・モバイル専用 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第54号 | ○ | ○ | | ○ |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー<br>証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第2336号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| スパークス・アセット・マネジメント<br>株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第346号 | ○ | | ○ | ○ |

※　株式会社SMBC信託銀行は、一般社団法人投資信託協会に加入しています。

〔お問い合わせ先〕 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
ホームページ　https://www.sparx.co.jp/　電話番号：03-6711-9200（受付時間：営業日9：00 ～ 17：00）